

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成 27 年度第 9 回）議事録

日 時 平成 27 年 12 月 25 日（金）16：00～17：45
場 所 国立研究開発法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 児玉安司理事 南砂理事 門田守人理事 中釜斉理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 27 年度第 8 回）議事録の確認

- ・議事録について、資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を中釜斉理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 審議事項

なし

III. 報告事項

1. AMED 創薬コンソーシアム（GAPFREE プロジェクト）

- ・AMED が行う産学官共同創薬研究プロジェクトについて資料に基づき報告がなされた。

2. PMDA との包括連携協定書

- ・PMDA との連携・協力の推進に関する基本協定について協定案に基づき報告がなされた。

3. 労働組合からの要求書の提出について

- ・労働組合からの賃金・労働条件改善に関わる要求書について、資料に基づき報告がなされた。
- ・今後、国家公務員の給与法の改正、NH0 の状況等を確認しながら交渉を進めていくとの説明がなされた。

4. 広報実績について

- ・11月21日から12月18日までの間にあったプレスリリース、取材申込み等について報告がなされた。

5. 社会と健康研究センター（Center for Public Health Sciences）等の組織改正について

- ・1月1日付で予・検センター等を、社会と健康研究センターとして改組することについて、資料に基づき報告がなされた。
- ・社会科学系の研究組織を作ることに賛同する。コホート研究の充実により、情報発信のモデルになることを期待する。また、国民は情報を求めている。との発言があった。

6. 国立がん研究センター平成28年度予算案について

- ・国立がん研究センター平成28年度予算案について、資料に基づき報告がなされた。

7. 平成27年11月分月次決算について

- ・平成27年10月までの実績に基づく平成27年度決算見込み及び平成27年11月分月次決算、病院指標等について報告がなされた。
- ・対前年比による要因分析を行い、次期年度計画に反映していくことが必要との意見が出された。
- ・医業収支は改善している。これを持続するために、経営改善効果等を職員へフィードバックし次に繋げていくことが重要であるとの意見が出された。